

サステナビリティ経営とSDGs



新 CSR 検定

[企業の社会的責任×社会対応力]

いま「サステナビリティ(持続可能性)経営」を目指す企業が増えています。そのきっかけは2015年。SDGs(持続可能な開発目標)、気候変動枠組み条約の「パリ協定」、そしてGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)による国連責任投資原則(PRI)署名が企業や組織の行動規範を大きく変えつつあります。CSR(企業の社会的責任/企業の社会的対応力)は、サステナビリティ経営の基本です。すべての社会人と学生の受験をお勧めいたします。

※長野県会場(塩尻)は10:30開始、裏面をご覧ください。

3級 第8回試験 10月21日(日)午前10時

3級 試験概要

3級受験の目的	CSRの基本的なリテラシー(理解力)を身につけること		
試験時間	70分	問題数	40問(選択式)
出題範囲	原則、[新]CSR検定3級公式テキストから出題されます		
合格ライン	80%以上(合格率:第6回74.5%、第7回69.8%)		
受験料 (すべて税込み)	◆一般 : 4,860円 ◆学生 : 3,240円	◆特割 : 4,320円 ◆特割学生 : 2,700円	
受験想定者	すべての社会人、学生		



[新]CSR検定3級の公式テキスト

■価格:1,728円(税込)
■判型:A5判 ■総ページ数:114頁
■ISBN978-4-904899-52-6 c3034
※新CSR検定3級の公式テキストです。2014年に発行したものを一部情報を更新・修正し、改訂版として発行。
※全国どちらの書店でも、取り寄せが可能です。アマゾン、オルタナオンラインショップなどで購入できます。



[新]CSR検定3級試験 1~7回合格者ランキング

- 1位 株式会社ユニバーサルポスト(広島市、110人)
 - 2位 カシオ計算機株式会社(東京都、64人)
 - 3位 横浜市立大学(横浜市、46人)
 - 4位 カルビー株式会社(東京都、44人)
サンメッセ株式会社(大垣市、44人)
株式会社野毛印刷社(横浜市、44人)
 - 7位 株式会社ブリヂストン(東京都、36人)
 - 8位 株式会社エイブルデザイン(長野市、33人)
 - 9位 アヤハグループ(天津市、31人)
セブン&アイグループ(東京都、31人)
 - 11位 IDEC株式会社(大阪市、25人)
山陽製紙株式会社(大阪府泉南市、25人)
- 大学生合格者 合計48校/145人 高校生合格者 合計8校/8人
2018年4月現在

お申し込み期間	7月13日(金)~9月21日(金)
試験会場	札幌、仙台、宇都宮、埼玉第1(さいたま市)、埼玉第2(所沢市)、千葉、東京、横浜、長野、静岡、愛知第1(名古屋市)、愛知第2(刈谷市)、岐阜、三重、京都、大阪、広島、山口、福岡、熊本など
詳細	www.csr-today.biz
共催	一般社団法人CSR経営者フォーラム、株式会社オルタナ、日本財団CANPANプロジェクト

特別協力団体割引制度【特割】

登録いただいた団体構成メンバーの受験料が割引になる制度です。
詳しくは → www.csr-today.biz/exam/partnership

3級(第1回~第7回)
受験者総数:3037人/合格者総数:2247人
2級(第1回~第3回)
受験者総数:506人/合格者総数:295人
2018年4月現在

問い合わせ先

[新]CSR検定サポート事務局(株式会社オルタナ)
〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304

URL: www.csr-today.biz
mail: kentei@alterna.co.jp



新CSR検定「第8回 3級試験」

長野県内試験会場のご案内

日時：2018年10月21日(日)

受付 9:45~10:15、10:20より試験説明開始

10:30~11:40(試験時間70分)

会場：塩尻市・市民交流センター「えんぱーく」

2階・203/204会議室

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL.0263-53-3350

●電車:JR塩尻駅下車。東口(正面口)から徒歩約8分。

●車:長野自動車道 塩尻I.Cから約10分。

※駐車場は、市営大門駐車場をご利用ください。

その際は、3・4階に駐車していただき、3階連絡通路をご利用いただく
と便利です。なお、駐車券を1階図書館カウンターまたは、2階総合受付にお
持ち下さい。6時間の無料割引となります。

●長野県会場担当

株式会社エイブルデザイン 〒381-2207 長野県長野市大橋南2-37

連絡先:TEL.026-286-2583 (担当:渡辺 090-4382-9879)



SDGs 採択2015年以降のCSR

2015年SDGsが全世界で合意され、CSR経営は、より明確に社会にアピールできるようになりました。同時に、広義のコンプライアンスとしてCSRで取り組む地域、国の社会課題は持続可能な世界を生み出すための課題に連動しています。2015年以降のCSRの

SR=

Social Responsibility (社会的責任)は、

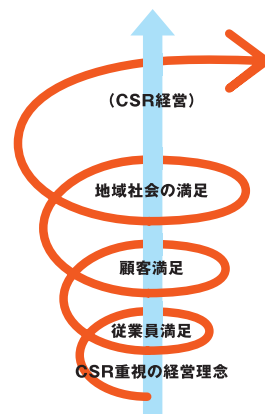
↓

Sustainable Responsibility

(社会全体の持続可能に対する責任)にシフトしつつあります。

企業が事業活動を通じて、環境・社会・経済に与える影響を考慮し、長期的な経営戦略を立て、社会全体の持続可能に貢献する取り組みがCSRの基本概念になりつつあり、これをCS(コーポレート・サステナビリティ)とも呼びます。また、社会の持続可能に貢献しつつ企業自体の持続可能な発展を実現する企業はSC(サステナブル・カンパニー)と呼ばれつつあります。

サステナブル・カンパニー



●新CSR検定の目的

CSRの理解者を企業や社会の中に増やし、CSRの視野を広げることで、より多くの皆さんに「CSRとは何か」「なぜ重要なのか」を理解していただき、業務にも活かしていただいています。最近の研究ではCSRの推進がES(従業員満足度)やCS(顧客満足度)にプラスの影響を与えることが報告されています。

各級の概要

●3級「CSRリーダー」

一般ビジネスパーソンや学生などを対象に、CSRの基本知識を身に付けて頂き、CSR活動が企業価値を高めること、NPOとの協働の重要性、企業と社会が連携して社会的課題を解決する意味など、「CSRリテラシーの基本」を理解していただけます。(年2回実施)

●2級「CSRエキスパート」

企業のCSR担当者や関連業務の従事者などを対象に、CSRの国際標準である「ISO26000」の概要と各中核主題を理解し、企業のCSR活動に反映するとともに、NPOとの協働、CSR活動と本業との統合が主体的にできる「より深いCSRリテラシーとスキル」を身に付けていただけます。(年1回実施)

●1級「CSRストラテジスト」

社会と組織(企業)の架け橋となり、持続可能な社会と組織を創るコーディネーターとしてのスキルを育成し、社会的課題を解決するソーシャルビジネスや、新規マーケットを創出できる人材を目指していただけます。(2019年に実施予定)

●合格者のネットワークづくりも検定の大きな目的です。

新CSR検定3級の合格者は「CSRリーダー」と呼び、全国各地で自主的に開催される「CSRリーダー会議」に参加することができます。(会議情報はメールで配信されます)

現在開催されている東京、大阪、名古屋、仙台、北海道などをはじめ、CSR検定が行われる地方都市でも今後開催されていく予定です。「CSRリーダー」は全国どこの会議にも参加できます。

CSRリーダー会議
参加の価値は

- 人脈・ネットワークづくり(異業種交流)
- 事例紹介による学習・情報共有(企業・NPO・行政)
- 各会議の内容を共有することで各リーダーの皆さんのCSR活動を支援



●新しい情報はホームページでご確認ください www.csr-today.biz/